

ZENSATO Monthly News

(全里マンスリーニュース)

2015年8月号 VOL.69.

2015年8月31日(月)(公財)全国里親会

◆「里親への育休」について厚生労働大臣に要望

現在、厚生労働省では、「育児・介護休業法」の見直しのため、改正作業が行われており、全国里親会では、昨年12月に、厚生労働省に対して要望を行いました。7月24日(金)、塩崎恭久厚生労働大臣を訪問し、星野崇会長など関係者が、「愛着形成に必要なため里親にも育休を」と改めて説明・要望を行いました。

厚生労働省に設置された法改正に関する研究会では、7月30日(木)に行われた最終的な研究会では、里親については、養子縁組を希望する里親の監護期間については育休を認める、養育里親には認めない、との方針が示されております。今後、審議会に場を移して検討され育児・介護休業法の改正が行われます。

◆第2回日本フォスターケア研究会の開催について

今年2月に第1回日本フォスターケア研究会が開催され正式に発足することになりましたが、第2回日本フォスターケア研究会が、下記の通り開催されることになりました。

また、研究会の会員募集も始まっております。

第2回日本フォスターケア研究会は、今年12月19日(土)、東京・豊島区の大正大学巣鴨キャンパス(10号館2階1021教室)で開催されます。

当日のスケジュールは、開会式・総会(10時~10時50分)、特別講演(11時~12時30分)、研究発表(13時30分~16時50分)の予定です。特別講演では、池上彰氏から「子どもたちの未来を考える」と題して講演をいただきます。

当日参加費は、会員は無料、非会員は3000円、学生2000円です。なお、会場の都合上、会員を優先することとし、定員(200名)に達した時点で締め切ることとしております。

また、研究会終了後、同大学学内レストランで、交流会の開催を予定しています。会費は、4000円です。(チラシをメーリングリストでお送りしております。)

◆「児童の養護と未来を考える議員連盟」総会に参加

8月25日(水)、自民党本部で「児童の養護と未来を考える議員連盟」の総会が開催されました。社会的養護関係者として、全国里親会、全国児童養護施設協

議会、全国乳児福祉協議会、全国母子生活支援施設協議会、日本ファミリーホーム協議会が参加しました。

今回のテーマは、来年度の予算要求に関して、各団体から要望が行われました。全国里親会では、次の6点にわたっての要望を行いました。

- ①里親制度の周知徹底について一般への理解を求め、里親のリクルート活動を促進すること。
- ②養護児童との愛着関係形成のため、里親にも育児休業法を適用すること。
- ③短期の里親(季節、週末等)について制度化を図ること。
- ④里親手当を大幅に増額するとともに2人目以降の児童についても里親手当を1人目と同額にすること。
- ⑤里親が個人負担している経費の見直しを行い、里親の経済的負担の軽減を図ること。(・部活やクラブ費用、・高校生の通学定期等、・更新研修等里親が研修のために要する交通費等、・里親賠償責任保険の保険料を措置者負担とすること、・歯科矯正等保険対外医療費を公費負担とすること)。
- ⑥社会的養護経験者の自立促進対策を講じること。

※ ※

なお、翌日の26日には、厚生労働省から来年度の概算要求が公表されております。

◆評議員会を開催

全国里親会では、第2回評議員会を7月28日(火)、日本財団会議室において開催しました。第1回評議員会を6月に開催しておりますが、任期満了に伴う評議員の改選が行われており、初めての顔合わせであり、全国里親会の事業の説明や質疑等が行われました。

◆訃報

全国里親会の前会長、廣瀬清蔵氏が7月2日逝去されました。享年93歳でした。

廣瀬清蔵氏は、昭和31年に児童養護施設黒松内つくし園を開設され、児童の養育に情熱を注ぐとともに、里親の開発に努め、自らも里親として活動を行い、昭和61年には全国里親会理事、北海道里親連合会会長に就任。平成16年から全国里親会の副会長として渥美節夫会長の片腕として活躍されました。渥美節夫会長ご逝去の後、平成23年からは当財団の会長に就任され、後任の指導にも当たられてきました。また会長を退かれた後も名誉会長として貴重なアドバイスをいただけてきました。

7月8日に通夜、9日に告別式が営まれました。ここに哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。

◆『里親だより』8月20日・105号を発行